



「茶畑からの社会貢献」を茶畑オーナーと創り上げる  
おぶぶのコミュニティー専門誌

# 茶畑オーナー通信

International Tea Farms Alliance

708



「今月のお茶 きらめきの煎茶」  
灼熱の夏に榮える茶葉の力で夏をのりきる

特集

国際茶園協会 (ITFA) の設立へ

世界に茶の魅力を茶畑から伝えたい

友山邦雄さま、震災の地からのレポート

お茶を通じた震災ボランティアに参加して

2011

7 月号

今月の表紙：World Tea Expo より  
ラスベガスで行われた全米最大のお茶の展示会  
World Tea Expo に集った世界のお茶仲間たち。

# 「きらめきの煎茶」

灼熱の夏に栄える茶葉の力で夏をのりきる。

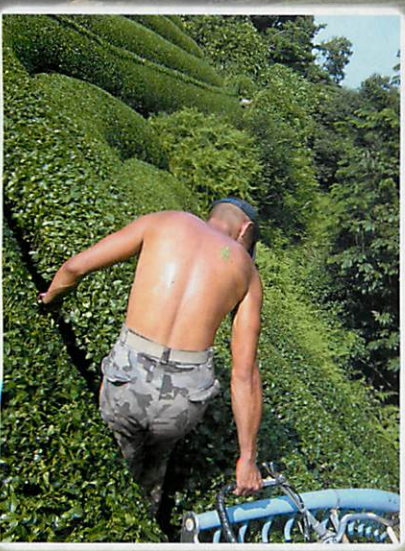
おぶぶの夏の新茶は二種類、「きらめきの煎茶」と「太陽の煎茶(夏)」。  
この二つの茶葉の一番のちがいは、育て方。収穫直前の二週間、太陽光を85%さえぎる遮光ネットをかぶせたか、かぶせていないか?それによつて、収穫する茶葉の味わいは大きく変わります。今回お届けした新茶は、かぶせたほうの夏の新茶「きらめきの煎茶」。この「きらめきの煎茶」、さすが夏の新茶、化粧なしのまったくの荒茶(ブレンド茶葉のきざみ、選別などをしていない、いわばシングルモルトウイスキーのような茶葉)だから見た目はごつい。だけど水出しにすると爽やかな香りとおほのかな甘み、そして透きとおったエメラルドグリーンの水色(すいしょく)を楽しむことができます。もちろん熱湯で淹れてもよし。熱いお湯でサツと出せば、青々としげる夏山を渡る風を想わせるすがすがしい香りがします。夏バテにはビタミンCともいわれています。太陽の力をそのまま成長に変える植物そのものもつパワーを体内に取り入れてみるのはいかが?水出しでも熱湯出しでも楽しめる「きらめきの煎茶」で植物の力をあなたのものに。夏の新茶は飲むアロマテラピーです。



水出しで楽しむきらめきの煎茶

## 太陽のきらめきで育った茶葉

夏至すぎの草いきれにむせる茶畑に立つ。それだけで汗が吹き出してくる。青々しい山風に吹かれて育ったのがこのお茶「きらめきの煎茶」。夏至前後の灼熱の太陽をさけるがごとく収穫直前の二週間、ネット越しに太陽のきらめきを浴びて育ったこのお茶は、夏のお茶にあつて爽やかにやさしい味がする。



夏の農作業は背中に茶葉が舞い降りる?



このお茶が育った茶園

# オーナー茶園よりあっきーの「茶畑日誌」 (2011.5.20~7.10)

## 「茶畑に浮かぶマグロ船〜三ヶ月間無寄港、怒涛の日々」の巻

春から初夏にかけての茶畑は、怒涛の日々。晴れの日には作業しまくり。雨の日も同じく作業しまくり。日の出と共に茶畑に出て、日付が変わるまで製茶してまーす。

晴れの日々の作業は、新茶の収穫、肥料まきなどの雨の日の作業は、中刈り（もっさり伸びた枝を散髪するイメージ）、ほうじ茶の焙煎、茶工場の掃除などなど。

今年は、雨が多かったせいで、仕事の段取り変わりまくりのしかも春が遅くて、でも一気に暑くなったので、なれば仕事しても



約40kgの肥料袋を背中に



霧雨にかすむ茶畑

終わらんわ〜って感じでした。

この時期は、茶畑から離れられないので、三ヶ月間、マグロ船に乗った気分楽しんでマース！

オーナーさんにお茶が届いて一週間もすれば、焙煎じまい（春夏新茶の全作業の終わり）になる頃です。

そうなったら、茶畑の緑の海をゆくマグロ船もそろそろ寄港する頃です。茶葉を手を街にしよう！笑



緑の葉っぱの下まで刈落とす「中刈り（ちゅうがり）」作業

※あっきー： あっきーとは、京都おぶぶ茶苑代表・喜多幸浩のここの大学時代に飲んだ一杯のお茶に感動し、新規就農の以後15年以上、茶づくりに人生をかける。

緊急レポート

ピンチ！  
土砂崩れで茶畑に行けなし！

六月は全国的に大雨でしたね。

その大雨でここ和束でも茶畑への道路が土砂崩れとなり、まさかの通行止めになりました。しかも今年は長雨だったので、復旧工事もままならずいまだに通行止が続くという異常事態に巻き込まれました。



もちろんこの道が通れなくても、他に茶畑へのルートは二本あります。でもその二本のうちの一

本は、けものみちのような細さ。そしてもう一本は、ものすごく遠回り（茶畑まで往復約二時間）となる道です。（涙）

なんにせよ茶畑自体が地滑りしなくてよかったです。



現場はこのような惨状に



日本茶を  
世界へ  
～第二章～

## 世界に茶の魅力を茶畑から伝えたい。

国際茶園協会（ITFA）の設立へ

### 国際茶園協会（ITFA）とは

「日本茶を世界へ」を胸におぶぶでは日本茶の海外普及活動を七年続けてきた。しかし七年続けても目立った成果は出なかった。そして昨年ハワイの茶畑を訪問した際、うまくいかない理由にやっと気がついた。「世界は日本茶だけを求めているわけではない。だから世界ですべきことは、日本茶にかぎらず『お茶の魅力』を茶畑から伝えることだ」と。そして三月、世界の茶園をネットワークし、世界のお茶バイヤーやお茶好きとの橋渡しを作るため



新しく制定されたITFAの公式ロゴ

『国際茶園協会（以下、ITFA）』を設立した。設立当初、五カ国一〇茶園が賛同してくれた。

### 経産省ジャパンブランドに採択

「世界中の茶園をネットワークし、バイヤー・消費者との橋渡しを作る」。さほど目新しくないが壮大なこのアイデアだけでは、限られた茶農家以外、誰も真剣に取り合ってくれなかった。そこで経産省が提供する「新しい伝統の創造 支援事業『ジャパンブランド』」に応募した。震災で一ヶ月ほど遅れたが、無事採択された。これにより日本主導で世界の茶文化を創造するITFAは、一七〇〇万円の予算を手に本格的な活動に入るようになった。

### ラスベガスでのWorld Tea Expo

ITFA最初の活動、それが米国ラスベガスでの全米最大・茶専門展示会World Tea Expoへの参加だった。この展示会に日本から四つのメンバー茶園（静岡、京都、八女、知覧）が参加した。海外メンバーでは、インド、インドネシア、韓国の茶園が来た。ここで二〇〇人以上のバイヤーや消費者がITFAに賛同してくれた。また出発直前には福岡県八女市からも後援いただいた。そして参加茶園は八カ国一七茶園に

広がった。

### 来年三月、世界茶産地サミット開催へ

今後、ITFAは主にネット上で世界中の茶園とバイヤー・お茶好きをネットワークしてゆく。まずは無料メンバーを集め、意見交換し、様々なサービスを展開する。そして来年三月、世界の茶園を集めた「世界茶産地サミット」をここ京都・和東で開催する。それまでにITFAはどれほど進化しているだろうか？そして日本を代表する茶産地・京都和東で「世界茶産地サミット」が開かれれば、和東はまた一步「世界の和東」に近づくだろう。

あなたも  
ITFAの  
メンバーに  
なりませんか？

（※登録無料）



<http://teafarms.org/>

# 写真でみる 全米最大・茶専門展示会 World Tea Expo in ラスベガス



World Tea Expoの会場であるラスベガス  
コンベンションセンター(めっちゃ広かった)



展示会場の中の様子。開始直前で来場者は  
まだ少ない。嵐の前の静けさって感じ。



ITFAのブース。ひっきりなしに人が来て  
大繁盛でした。おかげで全然ほかのブースを  
見に行けなかった。涙



震災後の日本茶についてのセミナーでパネラー  
として壇上に。日本茶への関心は現地でも高く、  
聴衆は200人以上。立ち見の方も。



パナマからの青年は自国で喫茶店をオープン  
したばかり。日本茶への興味はすごかった。



韓国茶のブースにて。



来場者はみんなお茶好き。腕に「茶」の  
イレズミを彫ってる人も。



夜のレセプションパーティーにて。  
国際色豊です。



ラスベガスのマッカラン国際空港。  
荷物受け取り所にもスロットマシンがある。  
さすがギャンブルの町。



ラスベガスのルクソールホテル&カジノ。  
ピラミッドとスフィンクスのあるホテルです。  
(もちろんニセモノ)



ベネチアの水路とゴンドラのあるベネチアン  
リゾートホテル。空に見えるのは天井に描いた  
絵。楽しく夕マされるのがラスベガス流?



ラスベガスの東に広がるグランドキャニオン。  
岩と砂の荒涼とした現実にもまるで蜃気楼の  
ようにラスベガスは存在する。

## お茶を通じた震災ボランティアに参加して。

宮城県東松島市の避難所 小野市民センターにて

千葉県松戸市・友山邦雄さま

(茶畑オーナー歴：二〇一〇年一月)

### 茶畑オーナーになったきっかけ

昨年一月、農業専門誌「現代農業」で『茶畑オーナー制度』を初めて知りました。さっそく「おためしセット」を取り寄せ飲んでみると、今まで味わったことのないかぶせ煎茶の優しい味わい、そして面白そうなイベントへの期待感から茶畑オーナーになることを決めました。五五歳の時、私の住む千葉県松戸市にて「地域デビュー講座」を受講、当時はまだ始めた紅茶・日本茶・烏龍茶の趣味を生かした定年後の生き方への活路が開けました。現在、各種イベントや会議、デイサービス等で「お茶淹れボランティア」をしています。今後は「地域の茶の間」としての「コミュニティカフェ」の開設を目指しています。



### 「茶苗の植林体験」について

「東日本大震災復興・NPO支援全国プロジェクト」という活動の一環で、十年来所属している「たすけあいの会ふれあいネットまつど」という福祉系NPO法人から声がかかりました。

六月五日、東松島市にある避難所・小野市民センターの前で、パラソルで作った日陰の下にアウトドア用テーブルといすを並べたオープン型のカフェ「パラソル喫茶」をオープンしました。



一緒にボランティアに参加した仲間と

「お茶の力ってあるんですね。寄り添う力というようなもの。」

そこで被災者の皆さんにお茶やコーヒーを飲んでくつろいで頂きました。紙コップでなく陶器のカップで飲んで欲しいということで、仙台から来た方たちが一回一回カップとお皿を洗ってくれました。(本当に頭が下がります。)

私は、紅茶・緑茶・烏龍茶を受け持ちました。もちろん「おぶぶのお茶」も飲んでもらいました。今回は中国茶の「八宝茶」や「バラ茶」が女性の方に受けが良かったです。

はじめ避難者の方達とどんな話をしたら良いのかと戸惑いました。被災の事には一切触れないで、お茶を飲んで楽しんで頂くとうと心がけました。でもお茶を飲んで、お茶の話をしていると、お茶の葉が開いていくように心が開いていくのが分かりました。お茶の力ってあるんですね。寄り添う力というようなものが。

その後、自然と被災のようすや家族のことを話してくれました。

帰り道、被災のようすを目の当たりにしましたが、復興には長い時間がかかるなど実感しました。継続して関わっていかねばいけないと思っていました。



この日ばかりは被災者の方にも笑顔が



当日は多くの人たちにお茶を楽しんでいただいた。

茶畑オーナー・友山さん談

## “「茶畑からの社会貢献」のパートナー”茶畑オーナー様限定の特典のおさらい

私たちと共に歩んでくださるオーナー様だからこそ体験できる“茶畑からの心ばかり”

### ●オーナーさまは、いつでもお茶の**送料無料**

これは、使わない手はありません！一般の方は、1万円以上ご購入されないと全額無料にはならないわけですが、オーナーさまでしたら

**525円のほうじ茶一袋でも送料無料**になるのですから・・・。

(ご注文方法) インターネットでご注文の場合、商品一覧の「茶畑オーナー様専用送料無料商品」のところからお選びください。お電話やファックスでのご注文の場合は、茶畑オーナーである旨をお伝えください。お茶カタログ送付ご希望の場合も、ご一報いただければすぐ送付いたします。



### ●ギフトに**収獲証明書**を付けられます。

茶畑オーナーさまが、どなたかにギフトでおぶぶのお茶を贈られる場合、「**収獲証明書**」をお付けすることができます。(もちろん無料です！)

“あなたがオーナーである証”の付いた贈り物を先様にお贈りになることで、あなたの先様を大切にされる御心が強く届き、先様のお喜びようもひとしおになりますでしょう。



### ●イベントに**ご優待価格**にてご参加いただけます。

おぶぶでは、茶摘体験をはじめとして、お茶の苗木の植林体験、お茶会など、さまざまなイベントを開催しています。そのイベントすべてにおいて、**茶畑オーナーさまご優待価格**を設けております。オーナーさまご本人だけでなく、**お連れさまも割引料金**でのご参加が可能です。



◆オーナーさま特典、オーナー制度についてわかりにくい点などありましたらお気軽にご連絡くださいませ！

TEL: 0120-309-022 (0774-78-2911)

FAX: 0774-78-2215 mail: obubu@obubu.com

<お願い>茶畑オーナー制度をご紹介ください

茶畑オーナーになっていただいて「いいな」と思われたら、ご興味いただけそうなお知り合いにこの制度のことをご紹介いただけたらうれしいです。ご案内資料の送付も可能ですので、お気軽にお申し付けください。どうぞよろしくお願いいたします。

## ※ 次回の発送は9月29日頃の予定です。

### ●編集後記「承承漬けたべやー」

夏の新茶いかがでしたか？米国ラスベガスにて「日本茶を世界へ」第二章いよいよ始まりました。七年前に始めた時には、想像できない所まで来ることができました。ひとえに今お読み下さっているオーナー様のおかげです。本当にありがとうございます。これからは世界で和東茶の名を高め、茶畑オーナー様の満足度をさらにアップさせていきますね。大風呂敷は地球規模に広がったので、これから半年くらい中身充実のためにこもります。あと私事です、4/7に子供が生まれました！名前は「こぶぶ」ならぬ「空(そら)み」です。(おぶぶまつ)



### ✈ 今日のオ-ナ-状況

(2011年6月末日現在)

- 人数：総数584名 ●坪数総計：628坪
- 配送先：9カ国(日本、アメリカ合衆国、ドイツ、フランス、韓国、オーストラリア、台湾、スイス、イギリス)
- 人数の多い都道府県：1位 東京、2位 大阪、3位 京都

企画・編集

京都和東  
**茶 京都 おぶぶ茶苑**

〒619-1213 京都府 相楽郡和束町 南 大生水4-4  
フリーダイヤル **0120-309-022** FAX 0774-78-2911  
Mail obubu@obubu.com 京都おぶぶ茶苑 検索

～ 日本茶を世界へ ～

■ 6/10 経産省ジャパンプランドに「国際茶園協会ITFAが」採択。

おぶぶが推進する「国際茶園協会・ITFA」の活動がジャパンプランドに採択され、経済産業省のバックアップが決定。これまで単独で地道に続けてきた「日本茶を世界へ」伝える活動に大きなはずみがつきました。



■ 6/24-26 米国ラスベガスでのWorld Tea Expoに出展。

米国ラスベガスで開催された、全米最大のお茶専門展示会「World Tea Expo」に『国際茶園協会・ITFA』に参加する4つの茶園で参加。今回の展示会参加により、参加茶園が7か国16茶園、メンバー230人へと拡大しました。



■ 5, 6月の海外からの茶畑訪問。

アメリカ、イギリスなどから7人の海外の方が茶畑をご訪問。JTBさんと予定していたポーランドからの茶畑ツアー（20名×2回）などが震災の影響で、急きょ中止に。



～ 農業を楽しく ～

■ 5/10 児童自立支援施設の子供たちを招待してチャリティ茶摘体験。

奈良県立「精華学院」（児童自立支援施設）の子供たち約20名を招待して、チャリティ茶摘体験を実施。新緑の茶畑で茶摘をし、特製お茶づくし弁当に舌鼓を打ち、摘んだ茶葉を自らの手で製茶するところまで体験してもらいました。



■ 6/10 アクティベイト・マナースクール お茶まみれ体験。

札幌・東京などで活動されているアクティベイトマナースクールのご一行20名が茶畑に。「お茶まみれ体験」と題して、ほうじ茶焙煎体験、抹茶の石臼挽き体験、お茶づくし弁当、茶畑見学など、お茶まみれの時間をお楽しみいただきました。



■ 7/9 学生NPO・観光力ネットワーク・関西さま、夏の茶摘体験。

関西の大学をネットワークした学生NPO・観光力ネットワーク・関西さまご一行50名が夏の茶摘体験に。茶摘み、手揉み製茶、抹茶の石臼挽き体験のほかに、茶畑の草引き作業も若い力でお楽しみいただきました。



■ 7/1 A-1グランプリ全国大会決勝にてMBJ賞受賞。

農業のビジネスプランコンテストA1グランプリに「茶畑オーナー制度」で出場。決勝で全国2位となり、MBJ(Made By Japanese)賞と副賞賞金20万円を頂戴しました。



■ 7/10 茶畑オーナーさまほか、夏の茶摘体験。

恒例の茶畑オーナーさまの夏の茶摘体験。石臼挽きしたばかりの抹茶をふりかけた抹茶かき氷などもお楽しみいただきました。

～ 茶畑からの社会貢献 ～

■ 5/ , 6/ 障がい者施設の皆さまによる茶畑の草引き作業。

障がい者施設グリーンフィールドの皆さまに今年三月に植林した幼木茶園の草引き作業をしていただきました。



■ 6/30 神奈川県川崎市の特養老人ホームでのチャリティー茶会開催。

神奈川県川崎市の特別養護老人ホーム「かないばらえん」にて、チャリティー茶会を開催。約100人の人生の先輩に新茶・ほうじ茶などを味わっていただきました。また「老人ホームのお茶をおいしくするぞ」プロジェクトについても同施設と進めています。



■ お茶のラベル貼り、袋詰め等の軽作業を障がい者施設の皆様に委託。

今回、お届けしたオーナーさまのお茶も地元の障がい者施設グリーンフィールドの皆さまに手伝っていただき、一緒に作り上げました。

